

# 限界を迎える「限界集落」

消えつつある自給自足の農と里山暮らし

農と食の未来フォーラム  
2026年1月31日

富澤太郎



## 山梨県上野原市西原（さいはら）

- ・ 都心から約90分
- ・ 中央本線「上野原駅」から車で約30分、路線バスだと50分...



## 山梨県上野原市西原（さいはら）

- ・ 山に囲まれた自然が豊かな地域
- ・ 農業（養蚕、こんにゃく、わさび）と林業（炭焼き、材木）が主たる産業だったが、いまは専業で従事する人はほぼいない



## 人口減少

- ・ 428人（2026年1月）
- ・ ピーク時は、約2400人！
- ・ 高い高齢化率（65%）
- ・ 中学校、小学校は閉校、保育所も閉所
- ・ 毎年20人ぐらい減少。今後更に減ることが予測される



## 2013年に移住

- ・「しごと塾さいはら」をきっかけに、西原地域を知り、自給自足の農業の力強さや美しさに惹かれて移住
- ・夏は農業、冬は林業を主に自給自足の暮らしを実践中。  
屋号は「やまはた農園」
- ・家族4人、猫、ニワトリと 古い民家（借り家）に暮らしている



## 「限界集落」

地域人口の50%以上が65歳以上の集落。冠婚葬祭、道路管理、農業などの社会的共同生活を維持することが限界に近づきつつある集落のこと

- ・ コロナ禍をきっかけに、様々な地域行事が無くなった。
- ・ 葬式も簡略化傾向。
- ・ 増え続ける休耕地。
- ・ 増える獣害（イノシシ、シカ、サル）





## 消えつつある自給自足の農と里山暮らし

- ・ 在来種の雑穀。失われつつある種。
- ・ 壊れた水車。食文化の消失。
- ・ 火を使わない暮らし。薪はいらないため、里山は荒れる一方。



ご清聴ありがとうございます！

